

2018年2月13日

甲子園二葉幼稚園

ふたばだより～保護者招待日に向けて～

2月も半ばとなりましたが、まだまだ寒い日が続きます。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、明日からは保護者招待日として年少組から順番に、皆さまを「子どもたちの世界」にお迎えしますので、ここに各クラスの様子をクラスだよりとしてお届けしたいと思います。

2月の園だよりでは、「幼児期の終わり頃までに育ってほしい10の姿」を紹介させていただきましたが、わたしは、もう少しお話ししたいと思います。

この一年の子どもたちの育ちを振り返ってみますと、「どの子も確かに育った」と思います。4月のお子さまの様子と比べると、どうでしょう「ああ大きくなった」と言えるでしょう。昨年とはどうでしょう。「確かに大きくなった」と。

他の子と比べるとどうなのかなと心配になることはあるかも知れませんが、比べる必要などないのです。3歳より4歳。4歳より5歳と確実に育っています。

明日は、そのような姿をご覧いただければと思っています。お母様から離れることが辛くて泣いていたあの子が、友だちと遊ぶこともできなかったあの子が、言葉で表現することがうまくできなかったあの子が、仲間作りがへたくそだったあの子が…。いつの間にかこんなこともあんなことも、できるようになったのですね。しかし、これは何もしないで放っていてここまで育つでしょうか、自由にしていれば育ったのでしょうか。

ご家庭での育ちはもちろんのこと、園で、集団の中で、友だちとの関わりを通して学ぶことがたくさんあったからなのですね。育てておきたい10の姿は、確かにここにあるのです。

友だちとの関わりの中で、やりたいことも、やってはいけないことも、やった方がいいことも、全て学んできたのです。年少組は、言葉で表現できるようになってきています。年中組は、相手の気持ちがあることに気づいてきていま

す。年長組は、自分の思いと友だちの思いを考えるようになりました。

これが、子どもたちの育ちでしょう。

それぞれの子どもたちが自分なりの表現をしています。それが大好きな歌であったり、ダンスであったり、お話であったり、劇遊びであったり。年長児は世界の建物だったり、食べ物だったり、調べたことであったり…その一人ひとりの表現は、皆違います。だけどみんなそれぞれにいい。

二葉幼稚園では、その一人ひとりの育ちを支えます。何がしたいのとたずね、一緒にしようかと「手伝ってあげること」、やってみようかと「背中を押すこと」、いつからでもいいよ、待っているからねと励ましつつ「見守ること」など、支える形は様々です。だけど何とかするのはその子自身。

こうして、みんなが自分で何とかしながらここまで大きくなってきたのです。明日は、どうぞその姿をご覧いただきたいと思います。

新しい要領や指針は、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を大事にしています。これは、二葉幼稚園がこれまでも大事にしてきたこと。

わたしたち大人にできることはあくまでも支えることだけだと思います。子どもたちを信じ、その育ちを信じ、これからもわたしたちは、子どもたちを見守り続けたいと思います。皆さまと一緒に。

どうぞ、一日お楽しみください。

園長 田村三佳子

